

CASBEE-建築(新築)2016年版 (改訂)スコープ2016		■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版 CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)			
■評価項目		■評価基準		■評価結果	
評価項目	評価基準	評価結果	重み係数	評価結果	重み係数
<b>Q1 室内環境</b>					
<b>1.1 音環境</b>					
1.1.1 室内騒音レベル	客室35<dB≦40とする	3.0	0.15	3.9	1.00
<b>1.2 遮音</b>					
1 開口部遮音性能	遮音性T-2等級のサッシを使用	3.0	0.40	3.8	0.40
2 外壁遮音性能	遮音性能:TLD-56	5.0	0.02	5.0	0.30
3 床遮音性能(軽量衝撃源)	-	-	-	3.0	0.20
4 床遮音性能(重量衝撃源)	-	-	-	1.0	0.20
1.3 吸音	床仕上げ:ロールカーペット、壁:グラスウール充填	3.0	0.30	4.0	0.20
<b>2 温度環境</b>					
2.1 室温制御	夏季24°・冬季24°を実現することができる設備容量を確保	3.0	0.50	4.1	0.50
1 室温	-	3.0	0.38	5.0	0.57
2 外皮性能	-	3.0	0.25	3.0	0.43
3 ソーン制御	-	3.0	0.37	-	-
2.2 湿度制御	-	3.0	0.20	3.0	0.20
2.3 空調方式	-	3.0	0.30	3.0	0.30
<b>3 光・視環境</b>					
3.1 昼光利用	ロビー:28%	4.1	0.33	2.4	0.30
1 昼光率	-	5.0	0.57	2.0	0.60
2 方位別開口	-	-	-	3.0	0.40
3 昼光利用設備	-	3.0	0.43	3.0	0.40
3.2 グレア対策	-	3.0	0.29	3.0	0.30
1 昼光制御	-	3.0	1.00	3.0	1.00
3.3 照度	-	3.0	0.14	1.0	0.15
3.4 照明制御	-	1.0	0.24	3.0	0.25
<b>4 空気質環境</b>					
4.1 発生源対策	内装材などは全て☆☆☆☆対応品を使用	5.0	0.50	5.0	0.63
1 化学汚染物質	-	5.0	1.00	5.0	1.00
4.2 換気	30m <sup>3</sup> /h以上を確保	3.5	0.30	3.3	0.38
1 換気量	-	4.0	0.50	4.0	0.33
2 自然換気性能	-	-	-	3.0	0.33
3 取り入れ気への配慮	-	3.0	0.50	3.0	0.33
4.3 運用管理	-	3.0	0.20	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視	-	3.0	0.02	-	-
2 喫煙の制御	-	3.0	0.98	-	-
<b>Q2 サービシブル</b>					
<b>1 機能性</b>					
1.1 機能性・使いやすさ	-	3.0	0.40	3.1	1.00
1 広さ・収納性	-	3.0	0.40	2.5	0.60
2 高齢者対応設備対応	-	-	-	3.0	0.50
3 バリアフリー計画	-	3.0	1.00	-	-
1.2 心理性・快適性	天井高:3.4m(レストラン) 2.7m(客室)	3.0	0.30	4.0	0.40
1 広さ感・景観	-	4.0	0.02	5.0	0.50
2 リフレッシュスペース	-	-	-	3.0	0.50
3 内装計画	-	3.0	0.98	-	-
1.3 維持管理	維持管理に配慮した設計	4.0	0.30	4.0	0.30
1 維持管理に配慮した設計	外部に露出する金属部分にメッキ処理の防錆対策	4.0	0.50	-	-
2 維持管理用機能の確保	十分なスペースの清掃用具室と管理倉庫を設置	4.0	0.50	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>					
2.1 耐震・免震・制震・制振	福岡市建築基準法施行条例 第8条の2に準拠	3.8	0.50	-	-
1 耐震性(建物のこわれにくさ)	-	4.0	0.80	-	-
2 免震・制震・制振性能	-	3.0	0.20	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数	-	3.1	0.30	-	-
1 躯体材料の耐用年数	-	3.0	0.20	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	-	3.0	0.20	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	-	3.0	0.10	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	外気取入系統、屋外露出部分のダクトはガルバリウム鋼板を使用	4.0	0.10	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	-	3.0	0.20	-	-
2.4 信頼性	-	3.0	0.20	-	-
1 空調・換気設備	-	1.0	0.20	-	-
2 給排水・衛生設備	-	3.0	0.20	-	-
3 電気設備	電源系統等に利用可能な用の照明等の配線を設置	4.0	0.20	-	-
4 機械・配管支持方法	耐震クラスA-S	4.0	0.20	-	-
5 通信・情報設備	-	3.0	0.20	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>					
3.1 空間のゆとり	階高5m	4.6	0.01	2.4	0.50
1 階高のゆとり	-	5.0	0.60	2.0	0.60
2 空間の形状・自由さ	バリエーション:0.2921	4.0	0.40	3.0	0.40
3.2 荷重のゆとり	-	3.0	0.01	3.0	0.50
3.3 設備の更新性	-	3.0	0.97	-	-
1 空調配管の更新性	-	3.0	0.20	-	-
2 給排水管の更新性	-	3.0	0.20	-	-
3 電気配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-
4 通信配線の更新性	-	3.0	0.10	-	-
5 設備機器の更新性	-	3.0	0.20	-	-
6 バックアップスペースの確保	-	3.0	0.20	-	-
<b>Q3 屋外環境(敷地内)</b>					
<b>1 生物環境の保全と創出</b>					
1.1 生物環境の保全と創出	建物の高さ、壁面位置、外装、開口部の形状や色彩の調和	1.0	0.30	-	1.0
<b>2 まちなみ・景観への配慮</b>					
2.1 まちなみ・景観への配慮	-	4.0	0.40	-	4.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>					
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	-	3.0	0.50	-	-
3.2 敷地内温暖環境の向上	-	2.0	0.50	-	-
<b>LR1 省エネルギー・省資源・省CO<sub>2</sub>性能</b>					
<b>LR1 エネルギー</b>					
1 建物外皮の熱負荷抑制	-	3.0	0.20	-	3.0
2 自然エネルギー利用	-	3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化	[BEI][BEH]= 0.75	4.0	0.50	-	4.0
<b>4 効率的運用</b>					
集合住宅以外の評価	-	3.0	0.20	-	3.0
4.1 モニタリング	-	3.0	0.50	-	-
4.2 運用管理体制	-	3.0	0.50	-	-
集合住宅の評価	-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>					
<b>1 水資源環境</b>					
1.1 節水	-	3.0	0.20	-	3.0
1.2 雨水利用・雑排水等の利用	-	3.0	0.40	-	-
1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.60	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無	-	3.0	0.70	-	-
2.1 雨水利用システム導入の有無	-	3.0	0.30	-	-
<b>2 再生性資源の使用量削減</b>					
2.1 材料使用量の削減	-	3.4	0.60	-	3.4
2.2 既存建築物等の継続使用	-	3.0	0.11	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材	-	-	-	-	-
2.6 木材の再利用可能性向上への取組み	樹皮と仕上げ材が容易に分別可能	5.0	0.22	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用削減</b>					
3.1 有害物質を含まない材料の使用	-	3.0	0.20	-	3.0
3.2 フロン・ハロンの回避	-	3.0	0.30	-	-
1 消火剤	-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)	-	3.0	0.50	-	-
3 冷媒	-	3.0	0.50	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>					
<b>1 地球温暖化への配慮</b>					
1.1 地球温暖化への配慮	ライフサイクルCO <sub>2</sub> 排出量が、一般的な建物と同等	3.8	0.33	-	3.8
<b>2 地球環境への配慮</b>					
2.1 大気汚染防止	-	3.0	0.25	-	-
2.2 温暖化環境悪化の改善	-	2.0	0.50	-	-
2.3 地球インフラへの負荷抑制	-	3.2	0.25	-	-
1 雨水排水負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-
2 汚水処理負荷抑制	-	3.0	0.25	-	-
3 交通負荷抑制	導入路:明治通りに側客用入庫車両、大名761号線に客用出庫車両	5.0	0.25	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制	-	2.0	0.25	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>					
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	-	3.0	0.33	-	3.0
1 騒音	-	3.0	0.33	-	-
2 振動	-	3.0	0.33	-	-
3 悪臭	-	3.0	0.33	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制	-	3.0	0.40	-	-
1 風害の抑制	-	3.0	0.70	-	-
2 砂塵の抑制	-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制	-	3.0	0.30	-	-
3.3 光害の抑制	-	3.0	0.20	-	-
1 建物周囲及び敷内周囲のみに設置する光への対策	-	3.0	0.70	-	-
2 昼間の建物外壁による反射光(ガラス面の対策)	-	3.0	0.30	-	-